|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(13)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2025年3月29日　週間祈りカード | | | |
| △産業宣教　金土日時代のやぐら9  237 - 5000の一人招待(マタ28:16-20) | △RTとTCK伝道学/三つの庭のモデル9  レムナントとTCKの準備(ルカ23:28) | | △核心/RT Day  4月学院福音化 |
| △私たちは今、伝道の新しい時代を開いている。私たちは出エジプトしてカナン入ることをよく見るべきだ。24することができる指導者12人が準備されて、24することができる場所を確認して入った。そのときから、神様がヨルダンを分けて、エリコを崩して、月と太陽を止めて、アナク山地を占領するようにした。25だ。入って永遠の福音を伝えた。それゆえ、牧師は12か所を定めなさい。鍵は24だ。私が24できなければ24する人を送って、送る人がいなければ24する人を立てなさい。最後に祈り24を教えてあげなさい。すると本人も生かされる。  □序論  1.みことば-信じにくい部分多い。ここでだまされる。  2.成就-7･7･7目に見えないのに正確に成就する。  3.7･7･7祈り-力、幸せ、喜び(24、25、永遠)  □本論  1.創12:1-3アブラハムに初めからこの話をされた。  1)契約　わたしがあなたに示す地に行きなさい。  2)根源　あなたが祝福の根源になる  3)代表　あなたによって　　4)記念碑　あなたの子孫によって  5)不可抗力　あなたに立ちはだかる者はない  2.成就　神様は一度も福音を、みことばを止めたことはない。  1)奴隷として行くようになる。  2)捕虜として。聞き取れないから  3)属国　強大国に連れて行って属国にさせる。  4)流浪の民　全世界に散らしてしまう。  3.マタ28:16-20  1)あらゆる国の人々に行きなさい。天と地のすべての権威を持ってあなたとともにいる。  2)弟子としなさい。24する人を立てなさい。  3)わたしがあなたといつもともにいます。これが25、永遠だ。  4.マコ16:15-20万民に行きなさい。  1)御座に着かれた主があなたとともに  2)癒やし　病んでいる者に手を置けば癒やされる。  3)悪霊　わたしの名によって悪霊を追い出しなさい。  5.使1:1-8地の果てまで行きなさい。  1)聖霊の満たし　聖霊のバプテスマを受けるだろう  2)力を受けるようになる。これが300%だ。  3)証人になる。  □結論  祈り24レムナントは朝、昼、夜に少しだけしても24になる  答え25が与えられる。  世界を生かすことが起こる。永遠だ。  △牧師、重職者は、無条件に「一つの地域を私が生かす」牧師は「12地域を生かす」長老は「70地域を生かす」心に込めなさい。 | □序論\_絵- RT7人  レムナントは未来に対する確実な絵を描きなさい。間違って描いても神様が修正してくださる。  1.流れ-Trinity -目に見えない流れ3つがある。神様は、今もみことばを成就、祈りの答え、救いの働きを成し遂げておられる。すると、私は何を準備して、どこにいるのかを確認だけすれば良い。  2.やぐら、旅程、道しるべ-先に祈りのやぐらが作られれば、旅程を行くようになるが、このとき、一生の答えが与えられる。それが道しるべだ。  3.霊的サミット-成功する前に霊的サミットに、先になるのだ。  □本論  1.300%  1)祈り300%  2)学業300%  3)未来300%がみな出てくる。レムナントが受ける祝福だ。 | 2.未来300%  1)使17:1 (キリスト) -会堂で。ここでは、キリストという単語を正確に分からなければならない。  2)使18:4 (金土日) -金土日時代、ここで見つけ出すことだ。  3)使19:8 (三つの庭) -レムナントは三つの庭の体験を味わえば全部未来になるのだ。  3.方向  1)一か所  2)一つの地域  3)一つの国を生かすようになる。  □結論\_器、姿勢、TIME  答えが来るので「器」を準備して、これからサミットなるから「姿勢」を準備して、この「TIME」を味わいなさい。それゆえ、レムナントは朝、夜、昼に少しだけ5分、10分だけ祈っても良い。すると答えは後に来る。神様がレムナントとともにおられる。レムナントは未来の心配を絶対してはならない。 | □序論  237、癒やし、サミット(三つの庭、金土日時代)-この祝福を受けなければならない。  7やぐら-みことば・祈り・救いで働かれる三位一体の神様が、私のやぐら、御座の力、世界福音化する力、私の過去・現在・未来に勝つことができるやぐら、5力、空中の権威を持つ支配者に勝つ力、CVDIP未来を知らせる奥義、三つの庭が私に臨むように祈り  旅程を行くこと-三位一体の神様が答えられる御座の道を御座の土台10、御座の奥義10を持って行くこと、御座の5つの確信が私の道  □本論  1.御座の流れで流れを変える-三つの庭(教会の門)、金土日時代(次世代)、黙想時代(癒やし)  考えを変える福音回復300%、サミットルーティンを持つ祈り回復300%、未来を心配しなくても良い未来回復300%のために  1)みことば、祈り、伝道の流れの中に私がどこにいるのか確認  2)9つの流れを持って変えなさい-家庭(病気・貧困・無能)、教会(伝道x)、現場(伝道者x、多くの病人)  3)教会史の流れをレムナントが変えるのだ。  2.一生の答えを見つけ出しなさい-牧師(12地域に伝道地教会)、重職者(主のしもべが世界福音化するようにサポートすること)、レムナント(回復)  1)祈りの奥義を持てば　　2)一生の答えが与えられる。  3)その中で今日の答え  3.今日、私が動くすべては御座のキャンプ  1)問題-答えを見つけるキャンプ　2)困難と葛藤-更新　3)危機-機会  4.300%準備  △伝道者-学生のときに伝道準備、毎日現場把握、どのように伝道運動するのか未来に対する答え  1)私-タラント発見　　2)専門性、現場性、未来性準備  3)みことばで答えが出てくる時まで編集、祈りに答えられる時まで設計、現場が見える時までデザイン  道しるべを作ること-カルバリの丘ヨハ19:30、オリーブ山使1:3、マルコの屋上の部屋使2:1、特徴がみな24することができることを建てた。すると25が出てくる。散らされた者たち使11:19 (命をかけた24の人々)、完全な聖霊の導き使13:1-4、マケドニア使16:6-10、ローマ使19:21  □結論  1.24･25･永遠システム-どこでも勝って、どんな問題がきても大丈夫  2.WIOS(神様が私、私たちの、すべてのことの中にともにおられるというシステム) -働き、癒やし  3.OURS(ただ、唯一性、再創造のシステム) |
| △散らされた弟子たち  7∙7∙7のモデル9－まことの始まり(使1:3) | |
| 散らされた弟子たちの始まり三つある。  1.過去(私が必ずすべきことは何か) -土台にしなさい  2.現場(ネフィリムの病気になっている) -今必ずすべきことは何か  3.未来に必ず必要なのは-持続するため。24する弟子、皆さんが行かなかったのに実を結ぶ。それが正常だ。この人が治るから、またほかの病人を連れて来る。再生産 | |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(13)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2025年3月30日　週間祈りカード | | | |
| △区域メッセージ第13週  ピリポ・カイサリア-癒やす力-律法主義とキリスト(マタ16:14) | △聖日１部  最初から与えられた幕屋の庭(出27:9-19) | | △聖日２部/237宣教会献身礼拝  絶えることのないともしび（出27:20-21) |
| □序論  1.殺すこと-普通殺すこと、殺す話をよくする。私たちは生かす力を伝達すべき。  2.人のことば-私たちは人の話をよくするが、みことばの力を持ってこそ生かされる。  3.恨み、批判-ややもすると私たちは恨み、批判することになるが、祈りの力で生かすことができる。  4.病むように-多くの人の周囲環境を見れば、私たちを病気にさせるが、癒やす力を持って助けなければならない。  律法主義-ユダヤ人は律法主義をしたので治すことはできない。律法は神様のみことばで、どんな道を行ってこそ正しく行くかを教えることだ。私たちが律法で救われることができないから、神様が救いを与えてくださった。  □本論  1.律法主義を継続するのでわざわいが押し寄せる。  1)ユダヤ人ほど法を問い詰めるところはない。  2)ムスリム  3)カトリック-福音より律法を続けて強調する。  お金、行い-さらにお金で救われると言う。ユダヤ人とカトリックの共通点は、行いで救われると言う。創3章に陥った私たちは信仰で救われるので、行いで救われることはできない。家系の偶像崇拝によってわざわいが来ているが、行いで救われることはできない。  2.瞬時　必要な時もある。私たちが言い争いや事故が起こるとき、律法で問い詰める。  3.福音-神様が私たちに与えられた福音は、人を永遠に癒やす。  1) 237か国の使命者に一番最初にすべきことが霊的癒やしだ。  2) 5000種族は霊肉ともに病になっている。  3) TCK、CCK、NCK -葛藤の中にいるレムナントであるTCK、まったく滅びる国家で暮らすレムナントであるCCK、1か月に1ドルで暮らす国のレムナントであるNCKは全部癒やし対象だ。福音でなければ癒やしは不可能だ。  □結論  1.7･7･7祈り-キリストが与えられたこれを持って祈りなさい。  2.5力-これを祈るとき、5力が生じる。  3.使2:1-4五旬節の日になって。マルコの屋上の部屋の働きが起こったのだ。  使13:1-4伝道する前に先に祈って完全に聖霊の働きが起こる。  使19:1-7ティラノで伝道する前に祈って、霊的な大きな体験をするようになる。  Ⅱコリ12:1-10からだの中にいるのか外にいるのか分からないほど切実に祈った。 | □序論  1.外に出て行く前に子どもたちに教える三つのこと  1)霊的サミット　　2)祈りの力　　3)世界化の目  2.産業・学業に始めること、教会が門を閉める理由-三つの庭  1)ネフィリム団体に三つの庭を奪われた　2)深刻化する霊的問題  3)苦しみにあう次世代-祈りができる力、癒やすことができる力、世界へ出て行くことができる力だけ抜いてしまった  3.三つの庭  1)異邦人の庭-目が暗くなって四方から攻撃される韓国に宣教師が入ってきた。  2)子どもたちの庭-金土日時代を開いて三つの力を育てて刻印(使1:3イエス様の40日集中)  3)祈りの庭-どこでも祈って勝つことができる力なしで出て行く次世代、全世界が精神病  □本論\_受けるべき答え  1.三つの庭はアブラハムに与えられた約束-信じるとき働きが始まる  1)アブラハム  (1)約束-祝福の根源(祈りの庭)、あなたの子孫によって(子どもたちの庭)、すべての国々が祝福(異邦人の庭)  (2)わかったその日から、祭壇を築き始め(創13:18)  (3)与えられた祝福-イサクの代わりに雄羊、あなたの子孫によって、世界中の国々の民が祝福(創22:1-18三つの庭)  2)イサク-100倍の祝福、泉の根源、レホボテの祝福  3)ヤコブ-イスラエル(神様と人と競って勝った)  4)ヨセフ-世界福音化  2.幕屋の庭を語られた理由-世界を生かしなさいと  1)モーセ-すべての子どもが殺される時刻表に王宮(三つの庭の現場)へ  (1)血のいけにえ-10の奇跡、紅海(困難は暗闇を震えおののかせる証拠)  (2)三つの祭り　(3)幕屋と三つの庭  2)ダビデ-三つの庭を作る人なら、神様があらかじめ祝福される。  (1)羊飼い-王になる信仰と実力を備えた  (2)三つの庭の契約をわかったその日以来、主の霊が激しく下った  (3)王として、主の御名を持ってゴリヤテと戦い  (4)1千か所の祈り場、三つの庭がある神殿準備  3)すべてことに三つの庭-産業、伝道、教会も三つの庭  3.三つの庭を逃した神殿  1)商売をする所に変わった三つの庭-イエス様が怒ってのろわれた  2)イエス様の預言のとおり70年に崩れて、今まで回復しない神殿  3)子どもたちの庭、異邦人の庭、癒やしの庭-私の職業と教会にみな作りなさい。  □結論\_聖書にあるとおり三つの庭を作りなさい。 | | 絶えることのないともしびを光として放つことが宣教だ。  荒野-いつ困難が近づいてくるもわからない危険、いつ敵軍が攻め込むかもわらかない絶望が来る状況  □序論  1.ヨハ1:11-12キリストが光として来られた。受け入れるとき、この光が放たれる。  2.マタ5:13-16あなたは光だ。身分を信じるとき、働きが起こる。  3.Iペテ2:9この光を宣べ伝えるために呼んだ。伝えるとき、祈るときに働き  △光によって暗闇を癒やすことができる。  □本論\_どんな光なのか  1.237に向けた光  1)創1:3創造の光  2)イザ60:1-2栄光の光、起きて輝け。主の栄光があなたの上に臨んでいるからだ。  3)雅4:1-5 １千のやぐらを建てて光を照らしたのだ。  4)エゼ37:1-11みことば、いのちの息を吹き込んだら、骨が生き返って、軍隊になった。完全に絶望の中にいる私たちを神様は軍隊として起こした。  5)ヨハ1:1-14みことばが神様、キリストが神様で光、受け入れる者は神の子どもになる権威を受ける。みことばが人となった。  2.救いの光  1)幕屋の中に-24ともしびをつけなさい。  2)幕屋の外に-夜に明かりをつけなさい。  3)三つの庭-暗い道を行く人がこの光を見て生かされるように  △暗闇の中にいたあとで光を見た人々は違う。伝道しないでと言ってもする。いのちをかけて宣教地に行く。暗闇が何かを分かると、どれくらい感謝するか分からない。  3.癒やしの光  1)暗闇文化-強大国に広がっている。後進国は完全に暗闇の中に陥っている。  2)暗闇病気癒やし(ネフィリム) -霊的に苦しめられる人々は、この光でなければならない。  3)暗闇経済癒やし(献金) -献金は光の経済だ。献金するとき、本当に祈らなければならない。光の経済があってこそ暗闇経済に勝つ。  △この契約を知って全世界に光を放つことが宣教だ。この福音が入ってローマの暗闇を崩して、それがヨーロッパ全体に広がった。これが宣教で宣教献金だ。  □結論  1.始まり-福音　　2.結果-伝道(世界福音化)  3.今日-過程(答えも、困難も世界福音化して行く過程だ)  力の祈り-一週間ものすごい力を味わう祈りを始めなさい。聖霊に満たされれば力を受ける。地の果てまで証人になるほどの力が与えられる。  △日曜に深く契約を握ってゆっくり呼吸して生かす祈りをしなさい。月曜日から答えが与えられる。味わう祈りをしなさい。みことばが成就する答えが見える。日が経つにつれ健康で力がなければならない。 |